

## 第1学年 生活科学習指導案

1. 日時 平成28年7月6日(水) 13:30～14:15
2. 場所 1年1組教室
3. 単元名 「きれいにさいてね わたしのはな」
4. 単元目標 アサガオを育てる活動を通して、日々の変化から成長していることや生命をもっていることを感じ取り、アサガオの立場に立ちながら親しみをもって世話をすることができるようにする。
5. 単元の評価規準 【内容(7) 動植物の飼育・栽培】

	ア 生活への 関心・意欲・態度	イ 活動や体験についての 思考・表現	ウ 身近な環境や 自分についての気付き
単元 の 評 価 規 準	アサガオを育てることにより、その変化や成長の様子に関心をもち、最後まで世話をすることを通して、アサガオに親しみをもって大切にしようとする。	アサガオの立場に立って考えたり、工夫して世話をしたりしている。 アサガオの成長や関わりを振り返り、それらを自分なりの方法で表現している。	アサガオは成長していることや生命をもっていること、それに合った世話の仕方があることに気付いている。世話ができるようになった自分に気付いている。
学 習 活 動 に お け る 具 体 の 	1 ① アサガオの栽培に関心をもち、きれいな花を咲かせたいと願っている。	① アサガオの種の立場に立って、どのような花になりたいか考えている。	
	2 ② アサガオの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもち、水やりなどの必要な世話をし、繰り返しかかわっている。	②アサガオの日々の変化から成長について考え、アサガオの立場に立った世話の仕方を工夫している。 ③ アサガオの成長の様子や世話をしたときに気付いたこと、感じたことなどを絵や文で表現している。	①アサガオに合った世話の仕方があることに気付いている。 ②アサガオは生命をもっていることや成長していることに気付いている。
	3 ③アサガオとの思い出を振り返り、枯れた後のアサガオも大切にしたいという思いをもっている。	④育ててきたアサガオと自分のかかわりを振り返り、自分なりの方法で表現している。	③世話をしたことでアサガオが育ったことや、上手に世話ができるようになった自分に気付いている。

## 6. 単元について

### (1) 子どもの実態

31名（男子10名、女子21名）のクラスの子供達は、すっかり学校生活にも慣れ、明るく元気いっぱい過ごしている。素直で子どもらしく、周りの人やものに親しみをもってかかわろうとする子供が多い。また、学習活動にも意欲的に取り組んでおり、新しいことを学習することを楽しんでいる。

今までの栽培経験については、植物や野菜を育てたことがある子供が多かった。これまでの経験から、植物を育てるために必要な世話については、「水やり」「おひさまが必要」などと、様々なことに気づいていた。その一方で、2年生からアサガオの種をプレゼントしてもらおうと、「種ってこんなに小さいの。」と驚く姿が見られ、自分の手で種から育て、継続的な世話や観察をしながら花を咲かせるといった経験をもっている子供は少なかった。アサガオと十分にかかわりながら、どのような世話が必要かを考えていくなかで、アサガオに関する多様な気づきをもったり、生命の不思議さを感じたりすることでアサガオへの親しみを深めていくことを願っている。

### (2) 単元設定の理由

入学してから、子供たちは校庭や通学路など、あちらこちらに咲く花を見つけて、春の自然の様子を味わってきた。担任が教室に鉢植えの花を置くと、興味深そうに「これはなんのお花なの？」とじっと見つめる姿が見られた。また、2年生からアサガオの種をプレゼントしてもらったことで、「自分で育ててみたい。」「どんな花がさくのか見てみたい。」という思いが、子供たちに生まれていた。本単元では、一人一鉢のアサガオの栽培に取り組む。アサガオは成長の変化がとらえやすく、成長するにつれて多様な世話が必要となり、子供が多様な気づきを深めながら世話をすることができる植物である。夏には多くの花を咲かせ、色水遊びや押し花など、豊かに遊ぶこともできる。そして、一つの花から複数の種がとれることで、生命の連続性や不思議さに気付くことができると考えられる。

子供たちが自ら考えながら、アサガオの種まきや水やり、追肥、支柱たてなどの活動に主体的に取り組んでいくことができるようにしたい。何も語らないアサガオのことを考え、寄り添うことでアサガオにあった世話の仕方があることに気づき、アサガオに対する思いがふくらむのではないかと考える。栽培活動の中で生まれたたくさんの気づきを、言葉や文、絵、身体表現など、多様な表現方法で引き出していきたい。そして、友達と交流し合うことが、1年生なりに自分の考えを整理したり、友達の気づきを参考にしたり自分の活動のよさを確認したりするなど、新たな気づきを見出すことにつながると考える。単元を通して、子供たちが主体的に考えて世話を続けたからこそ花が咲いたという、活動に対する成就感、満足感を味わわせたい。そして、アサガオの立場に立って考え工夫をして世話を継続していくことは、目には見えないアサガオの気持ちを想像して考えることであり、思いやりの心を育てることにつながると考える。また、アサガオに親しく接してきた自分のかかわりを振り返ることで自分のよさや成長にも気づき、これからの活動への意欲を高めることができると考えている。

## 7. テーマとのかかわり

### (1) 一人一人の子どもが思いや願いをもち、夢中になって取り組む学習活動

学習活動が主体的なものとなるためには、子どもたちがかかわる対象に対してわくわくどきどきするような、興味・関心をもつことが大切である。この単元では、一人一人が、自分で「育てたい」という願いをもち、きれいな花が咲くまで、そしてその後もアサガオと十分にかかわることのできるような活動をしていきたい。そのために、学習材である「アサガオ」に対して「**私だけの、世界に一つにしかないアサガオを育てる。**」という思いをもつことができるようにしていく。また、長期的な栽培活動のなかで、思いや願いを持続できるような学習活動、その時、その場に応じた支援を心がけていきたい。

#### ○「**私だけの、世界に一つにしかないアサガオを育てる。**」という思いを強くもたせる。

##### ・種の観察・・・「私だけのアサガオとの出会い」

初めて種の観察をしたときは、「隣の友達の種類と、自分の種を見比べてごらん。」という声かけを行う。そうすることで、子どもは同じアサガオの種であっても丸い種もあれば、スイカのような形の種もあり、全く同じ種などない「世界に一つだけの私の種なんだ。」ということに気付き、「大切に育てていきたい。」という気持ちを膨らませていく。

##### ・アサガオに名前を付ける活動・・・「私だけのアサガオの明確化」

また、種の観察を終え、「どんなアサガオに育ててほしい？」という声かけをすることで、大切に育てていきたいという気持ちを明確にするとともに「自分だけのアサガオに名前を付けて育てていきたい。」といった声を聞くことができた。そこで、自分だけのアサガオに名前を付ける活動も行った。子どもたちがアサガオとの距離を縮め、愛着を持ち続けるために、アサガオに思いをこめた自分だけの名前をつけることは有効であると考えます。

##### ・子どもたちが「私だけのアサガオ」に寄り添える学習活動作り・・・声かけと観察の工夫

アサガオの世話を主体的なもの、そして子どもにとっての楽しみにするために、「アサガオの世話をしなさい。」ではなく、「今日のあなたのアサガオはどうだった？会いに行ってあげよう。」「おはようって言ってあげた？」などの教師の日々の声かけを工夫していく。そうすることで、「私の〇〇ちゃん（自分のアサガオの名前）がんばっていたよ！」「今日はどうしているかな。」といったアサガオの世話をする活動を自然で主体的なものにしていく。

観察では、「芽が出たから観察をしよう！」ではなく、「芽が出たね。どう思う？」「なんて言ってあげたいかな。」という、子どものアサガオに対する気持ちを膨らませるような活動を作った。そうすることで、色や形、大きさ、手触りに注目するだけでなく、より「自分のアサガオがもっともっと大きくなってほしい。」という思いや願いをもち、夢中になって学習活動に取り組めると考える。

また、活動の中でつぶやきやカードの見取りを大事にすることで、その子自身がどんな思いや願いをもってアサガオと向き合っているのかを見取っていく。さらに、子どもの思いに共感するようなコメントをカードに返すことで、子どもが自分の気付きやがんばって世話をしたことに対して満足感を感じられるようにしたい。

## ○学習の見通しをもたせ、思いや願いを持続させる

2年生から手紙と種をもらったことで、子どもたちにとって「花を咲かせる」というゴールが明確になる。「きれいな花を咲かせたい」という願いをもとに、そのためにはどうしたらいいのかなと考えることが学習の見通しとなるだろう。生活科の時間だけでなく、常時活動においてもアサガオをじっくりと見つめる時間を大切にし、種まきのしかた、水やり、施肥、間引き、支柱たてなど、子どもたちが考え、それぞれのタイミングで必要な世話を工夫できるようにする。「アサガオだらけの鉢植えできつくないのかな。」「アサガオはどれくらい水がほしいのかな。」など、子どもの素朴な疑問を拾いあげていく。そうすることで、「それなら芽のお引越し（間引き）が必要だね。」「必要な水の量を調べてみようか。」などと必要に応じて子どもと一緒に解決していく。「お引越したからのびのびアサガオが育っている。」「水を多くあげたら大きくなった。」などと、自分のかかわりによってアサガオが成長していることに気付かせたい。自分が世話をがんばったから育つたのだ、自分の思いがアサガオに届いたのだという実感が、さらに活動への意欲を高めると考える。

## (2) かかわることの楽しさが分かり、自分の思いや気付いたことを進んで伝えようとする学習活動

一人一鉢のアサガオとのかかわりが主となるが、その中でも友達とのかかわりを大切にし、気付いたことを友達と伝え合うことで、クラス全体で共有できるようにしていきたい。また、友達のアサガオと比べることで新しい気付きも生まれると考える。

## ○伝え合い交流する場をつくる（観察カードの掲示）

カードは子どもたちの目線の高さに合わせて掲示し、いつでも見られるようにする。また、カードをかく時には、全体で交流する場を設けることで、友達の気付きから自分の気付きに共感できるようにする。友達の話聞いて、自分のアサガオをもう一度見てみると、また新しい気付きが生まれると思われる。

## ○「アサガオニュース」の時間を取り入れる

子どもたちは、毎朝水やりをするなかでいろいろな発見をし、「○○ちゃんのはぜんぶ芽ができたよ。」「はっぱが大きくなったよ。」などと、嬉しそうに報告にくる。その小さな発見を、子どもの気持ちが色褪せないうちに伝えさせたい、クラスで共有したいと考え、朝の会やちょっとした授業の隙間時間の中で「アサガオのことで気付いたことはありますか。」と問いかけ、自由に発表する時間を設けることにした。毎日の小さな変化をその時を逃さずに伝え合うことで、「そうだったのか。」と驚いたり「ぼくのもそうだったよ。」と共感したりすることができる。クラスの友達に共感され、認められることが喜びとなり、その喜びがまた「伝えたい」という思いにつながっていくと考える。慣れてきたところで、グループごとに話す順番を決めるなど、多くの子が発言できるように工夫していく。

また、この「アサガオニュース」を、はじめは担任が聞きとりながら掲示していくことで、子どもたちから自分でもかきたい、友達に伝えたいという思いを引き出していきたい。そして、かきたいときにいつでもかけるように、「○○（アサガオの名前）の秘密」というタイトルの小さなメモ帳を常備させる。いずれにしても、子どもたちとのさりげないコミュニケーションを大切にして、その瞬間の思いに寄り添い、一緒に驚き、感動できるようにしたい。そして、担任だけでなく、誰もが共感的に相手の話を聞き合えるような教室の雰囲気づくりに努めていく。

### ○カードのかき方を工夫する

毎日の世話の中での子どもたちの発見やつぶやきを受け、大きな変化があった時にカードをかくタイミングをはかるようにしたい。変化があったこと、新しく気付いたことがあったことを「カードにかきたい。」という思いにつなげていくようにする。

絵と文で表現するが、気付きや思いを十分に表現できるように、絵に矢印を使って言葉を書き込むなど、カードのかき方も丁寧に指導していく。また、字や絵をかくことに苦手意識があったり、うまくできないという思いがある子どももいるため、書くことに嫌悪感を抱くことがないよう配慮し、手本を見せたり、聞きとって代筆したりする。

観察を繰り返してかきためたカードを、単元の終わりには順番に並べることで、一つの種が芽を出し、花を咲かせ、また種ができるという成長を振り返り、生命の不思議さや素晴らしさ、自然と触れ合う楽しさを感じさせたい。また、知らなかったことがわかるようになり、自分の力で種からきれいな花をさかせたことに気付くことによって、自分が最後までがんばったからできたのだという満足感を味わせたい。

### ○「1ねん1くみアサガオ日記」の掲示

アサガオの成長や子どもたちの世話の様子を、いつでも振り返ることができるように、継続して掲示していく。子どもたちの思いや気づきも積極的に掲示することで、アサガオの成長を追うだけでなく、子どもの自分だけのアサガオに対する気持ちを持続させることの一助としていく。

### 8. 指導と評価の計画（19時間）

小単元名 (時数)	主な学習活動と子どもの姿	○支援 ★評価 【評価方法】
1 た ね を ま こ う	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">アサガオの種との出会いから、きれいな花を咲かせたいという思いをもつ。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">           きっかけ            ・校庭で、きれいな花をたくさん見つけたよ。            ・2年生からアサガオの種をもらったよ。            ・自分たちも花を育てたいな。         </div>	○種に着目してかけるように虫めがね型のカードを用意する。 ○まだひらがなを十分に書くことができない子どもには、教師が聞き取りをしながら書くようにする。 ○「よく見る」ための視点として、種の色や形、大きさ、模様、手触りなどに着目することを伝える。 ○友達の種類と自分の種を比較させ、全く同じ種などないことに気付けるようにする。
	1 ○アサガオの種を観察し、学習の見通しをもつ。 ・黒と茶色のまざった色だよ。 ・すいかをかじったみたいなかたち。 ・すごく小さいね。 ・よくみると白いところがあるよ。 ・はやくお世話をしたいな。 ・どんな花がさくのかな。楽しみだね。 2 ○アサガオの種の立場に立って、どんな花になりたいかを考える。 ・みんなに「かわいい」っていってもらえるアサガオになりたいな。	○種のイラストに顔をつけ、アサガオの種の立場を考えやすくする。 ○今までお花を育てたことがある子どもには、その時の経験を思い出すよう声かけを

2 お お き く な あ れ  ( 十 常 時 活 動 )	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きれいなお花を咲かせたいな。</li> <li>・お花を見る人に元気になってほしいな。</li> <li>・自分のアサガオに名前をつけたいな。</li> </ul> <p>○種まきの仕方を考え、種をまく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・穴をあけてうめるよ。</li> <li>・土をそっとかぶせよう。</li> <li>・肥料もあげよう。</li> <li>・毎日水をあげるよ。</li> <li>・はやく芽がでるといいな。</li> </ul>	<p>する。</p> <p>★アサガオの種の立場に立って、どのような花になりたいか考えている。</p> <p>【発言】イー①</p> <p>○種をまく深さや間隔に気を付けてまくように助言する。</p> <p>★アサガオの栽培に関心を持ち、きれいな花を咲かせたいと願っている。</p> <p>【発言・行動】アー①</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>アサガオの変化や成長の様子に関心を持ち、観察や世話を続けようとするとともに、気付いたことや感じたこと、考えたことを多様な方法で表現しようとする。</p> </div>		
	4	<p>○アサガオの様子を観察し、気付いたことや思いを絵や文で表す。</p> <p>&lt;発芽の様子&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・種の帽子をかぶっているよ。</li> <li>・おじぎをしているみたいだよ。</li> <li>・ちょうちょみたい。</li> <li>・くきがむらさきいろだよ。</li> <li>・まんなかにつぶつぶがあるよ。なにかででくるのかな。</li> <li>・もっとおおきくなあれ。</li> </ul>	<p>○観察する視点として、色や形、大きさ、模様、手触りなどに着目するとよいことを伝える。</p> <p>○アサガオの観察を通して、自分のアサガオに伝えたい自分の気持ちもカードに書くように伝える。</p> <p>○自分の植木鉢の中のアサガオ同士や友達のアサガオと見比べるように声をかけ、どのような過程で芽がでてくるのか、成長しているのか、気付くことができるようにする。</p>
	5	<p>&lt;本葉の様子&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ちょうちょの形の葉っぱの間から新しい葉っぱがでてきたよ。</li> <li>・形がちがうね。</li> <li>・葉っぱに毛が生えているよ。</li> <li>・もっと大きくなるように、また肥料をあげよう。</li> </ul>	<p>○朝の会で「アサガオニュース」として、水やりの時に気付いたことを伝え合う場を設け、クラス全体に広がるようにする。</p> <p>○観察に慣れてきたら、観察カードを書き終えたあとに、フセンの色ごとに「自分の気持ち」「発見」「はてな」の3つに観点を分けるように声かけをする。</p>
	6	<p>&lt;葉が増えてきたころ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼくの手と同じ大きさになったよ。</li> <li>・葉っぱの数も増えたね。10枚もあるよ。</li> <li>・このままどんどん大きくなっていくのかな。</li> <li>・植木鉢がせまそうで、光が当たってないみたいだよ。</li> <li>・元気のない葉っぱもいるよ。</li> <li>・どうしたらいいのかな。2年生に聞いてみよう。</li> </ul>	<p>○わからないことがあったら、誰かに聞きに行く方法もあることを伝える。</p> <p>○事前に2年生の担任の先生と打ち合わせをし、何を教えてもらいたいのか視点を明確にしておく。</p>
	7	<p>○アサガオの成長のために必要な世話について知り、間引きをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生が元気のない芽は抜いたほうがいいって言っていたよ。</li> <li>・大きい花を咲かせるために、何本か抜いて、広くしてあげよう。</li> <li>・家でも育てたいな。</li> </ul>	<p>○間引きすることが悲しいことだけではなく、アサガオにとって快適な環境で育つためのものだととらえられるように投げかける。</p>

8 + 常 時 活 動	<p>○つるが伸びている様子をとらえ、どのように対処したらいいのかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上に向かってのびているよ。</li> <li>・長くなってによるよ。よってきたよ。</li> <li>・となりのアサガオにからまっているよ。どうしよう。</li> <li>・家では、ぼうを立てているよ。</li> </ul>	<p>○アサガオの成長に合わせた施肥や間引き、支柱立てなどの世話をすることができるように、子どもの気付きや提案をいかしていく。</p> <p>★アサガオの日々の変化から成長について考え、アサガオの立場に立った世話の仕方を工夫している。</p> <p>【発言・行動・カード】イー②</p>
9	<p>○支柱を立てる方法を知り、支柱をたてる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上手にまきついてね。</li> <li>・ぼくの背よりも高くなりそうだよ。</li> <li>・となりのアサガオとすこし離して置いた方がいいね。</li> </ul>	<p>★アサガオに合った世話のしかたがあることに気付いている。</p> <p>【発言・行動・カード】ウー①</p>
10	<p>○開花の様子を観察し、気付いたことや思いを絵や文で表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きれいな花が咲いてうれしいよ。</li> <li>・ラップみたいな形だね。</li> <li>・今度は青い花が咲くといいな。</li> <li>・がんばってお世話してよかったな。</li> <li>・せっかくさいたのに、しぼんでしまったよ。</li> <li>・花をきれいに残しておきたいな。</li> </ul>	<p>○その日の天候や土の乾き具合など、アサガオの様子に合った水やりなどの世話をしている子どもをほめるようにする。</p> <p>★アサガオの変化や成長の様子に関心をもって、水やりなどの必要な世話をし、繰り返しかかわっている。</p> <p>【発言・行動・カード】アー②</p>
11  本 時	<p>○みんなのアサガオがこれからもっと咲くのかどうかについて根拠を見つけて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさん咲いているアサガオもあれば、咲いていないアサガオもあるよ。</li> <li>・まだまだ花がさくみたいだよ。</li> <li>・ぜんぶでいくつの花がさくのかな。</li> <li>・赤ちゃんのつぼみがたくさんあるよ。</li> <li>・もっとたくさん咲くんだね。</li> <li>・これからお世話をがんばろう。</li> <li>・夏休みもずっと咲くということだね。</li> <li>・もっと咲かせる方法を調べたいな。</li> </ul>	<p>○アサガオの変化や成長の様子を表わす子どもの言葉を取り上げて評価することで、クラスに広げ、表現する意欲を高めるようにする。</p> <p>★アサガオの成長の様子や世話をしたときに気付いたこと、感じたことなどを絵や文で表現している。</p> <p>【発言・行動・カード】イー③</p>
12	<p>○これからもきれいな花を咲かせ続けるために、夏休みの世話の計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おうちに持って帰りたいな。</li> <li>・家でも、毎日水やりをやろう。</li> <li>・家族のみんなにもアサガオの花を見せてあげたいな。</li> <li>・アサガオ日記をつけたいね。</li> </ul> <p>(夏休み中の活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・花がたくさん咲いたよ。</li> <li>・花がだんだんかれてきちゃったよ。</li> </ul>	<p>○子どもたちの考えを共感的に受けとめ、これからの栽培活動への意欲につながるようにする。</p> <p>★アサガオの栽培に関心をもち、きれいな花を咲かせたいと願っている。</p> <p>【発言・行動・カード】アー①</p> <p>○夏休みも継続して世話ができるように、家庭との連携を図る。</p> <p>○しぼんだ花は冷凍保存、とれた種は袋で保存するように声をかける。</p>

3 あ さ が お さ ん あ り が と う	13	○夏休みのアサガオの様子を発表し合う。 ・花が枯れたら種ができたよ。 ・花は朝6時くらいに咲いていたよ。	★アサガオは生命をもっていることや成長していることに気付いている。 【発言・行動・カード】ウー②
	14	○種を観察し、花が種になるまでの様子や種について気付いたことや思いをカードにかく。	
	15	○種とりをする。 ・はじめは花の下に緑の丸いものができるんだよ。 ・だんだん茶色になっていくね。 ・ぱりぱりになると、中からたねが出てくるよ。 ・部屋に分かれているね。 ・一つの部屋に種が4つも入っていたよ。 ・全部で50個もとれたよ。	
	世話をしたことでアサガオが育ったことや、上手に世話ができるようになった自分に気付く。		
	16	○アサガオの花を使って遊ぶ。 ・色水遊びをしよう。きれいな色だね。 ・2年生にも種をもらったお礼にプレゼントしたいな。	
	17	○カードを並べて、アサガオの成長を振り返る。 ・カードを並べてみよう。 ・表紙をつけてアルバムにしよう。 ・水やりをがんばったから、どんどん大きくなったね。 ・一つの種からたくさんの種がとれたね。 ・種をうめたらまたアサガオが咲くかな。	
	18	○枯れてきたアサガオをどうするのか、クラスで話し合う。 ・リースにしよう。 ・種はつぎの1年生にプレゼントしたいな。	
	19	○アサガオさんにお手紙を書く。 ・きれいな花を見せてくれてありがとう。 ・わたしもお世話をがんばったよ。 ・枯れてしまってさみしいな。 ・つぎの1年生にもきれいな花をみせてね。	
		○花を使った遊びを紹介し、アサガオを使って楽しく遊べるようにする。  ○これまでに書きためてきたカードや写真を見て、アサガオの成長や世話をしてくれてきた思いを振り返ることができるようにする。  ○花を咲かせるという目標に向かって栽培活動をしてきたが、アサガオは花が咲いて終わりではなく、種ができて生命がつながっていくことに気付くことができるような声かけをする。  ★アサガオとの思い出を振り返り、枯れた後のアサガオも大切にしたいという思いをもっている。 【発言・行動・カード】アー③  ★育ててきたアサガオと自分とのかかわりを振り返り、自分なりの方法で表現している。 【発言・行動・カード】イー④  ★世話をしたことでアサガオが育ったことや、上手に世話ができるようになった自分に気付いている。 【発言・カード】ウー③	



9. 本時の活動 (11 / 19)

(1) 本時の目標 アサガオの観察を通して、これからも花が咲き続ける根拠をみつけることができる。

(2) 展開

子どもの活動と学びの姿	○支援 ★評価
<p>1. 前時の観察を共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・可愛いお花が5個も咲いていたよ。</li> <li>・「見せてくれてありがとう」ってアサガオが言っていたよ。</li> <li>・私のアサガオは、まだ咲いていないから心配だな。</li> <li>・1年1組のみんなのアサガオが咲いてほしいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前時の観察で使ったワークシートを見ながら発表してもいいことを伝える。</li> <li>○観察の際の3色のフセン(「黄色:はっけん」「ピンク:きもち」「青:はてな」)を参考にしながら黒板に視覚的に分かりやすいように整理していく。</li> </ul>
<p>みんなのあさがおのはなは、これからさくのかな？</p>	
<p>2. 本時の課題について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2年生が言っていたからもっと咲くと思うよ。</li> <li>・そんなにたくさん咲くなんて本当かな。</li> <li>・咲かないアサガオもあるかもしれない。</li> <li>・つぼみがあるから大丈夫なんじゃないかな。</li> </ul> <p>3. アサガオの様子を観察をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アサガオさんは「まだまだ咲くよ」って言っているよ。</li> <li>・もうすぐ咲きそうなつぼみを見つけたよ。</li> <li>・赤ちゃんのつぼみがたくさんあったよ。</li> <li>・まだつるがのびそうだから、もっと大きくなって、たくさん花が咲くんじゃないかな。</li> <li>・新しいはっぱも出てきているから、新しいつぼみもまたできると思う。</li> <li>・つぼみはソフトクリームの形みたいだね。</li> <li>・花がしぼんで悲しかったけど、また新しい花が咲いたんだよ。もっと咲くんじゃないかな。</li> <li>・ぼくのアサガオももうすぐ咲きそうだよ。</li> </ul> <p>4. 観察したことを伝え合い、これからのアサガオの世話について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こんなに花の赤ちゃんがあるなんて思わなかった。</li> <li>・これからもたくさんアサガオが咲くんだね。</li> <li>・もっともつきれいなアサガオを咲かせたいね。</li> <li>・これからも水やりをがんばろう。</li> <li>・夏休みも頑張ってお世話を続けたいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○つぼみの存在を意識できるように、つぼみが「花の赤ちゃん」であることを抑える。</li> <li>○一人一人がアサガオに寄り添ってじっくりと見ることができる場を設定して観察する。</li> <li>○生活班で集まって観察をすることで、友達のアサガオも見ることができるようにする。</li> <li>○観察する視点として、色や形、大きさ、模様、手触りなどに着目するとよいことを伝える。</li> <li>○アサガオの観察を通して、自分のアサガオに伝えたい自分の気持ちもカードに書くように伝える。</li> <li>○三色のフセンを使用してもよいことを伝える。(「黄色:はっけん」「ピンク:きもち」「青:はてな」)</li> <li>○もっと咲くという根拠をアサガオから見つけるという意欲を持てるように、声かけを工夫する。</li> </ul> <div data-bbox="810 1753 1433 1910" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>★アサガオがこれからも成長していくことに気づき、これからの世話について考えることができる。 【発言・カード】イー②</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもたちの考えを共感的に受けとめ、これからの栽培活動への意欲につなげる。</li> </ul>